2023(令和5)年6月9日 報道発表資料[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

2023 年度 ロームシアター京都自主事業 ラインアップ追加のお知らせ

2023年3月に発表しました2023年度のロームシアター京都自主事業ラインアップに加えて、以下の事業の開催が決定しましたのでお知らせいたします。是非ご注目いただき、貴媒体にてご紹介いただきますようお願いいたします。

- ■『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう 3 』参加事業 ロームシアター京都×京都市文化会館 5 館連携事業「シアターデビュー!」促進プログラム
- ・作品 1:The Last Great Hunt「子犬のバーニー -幸せを探して-」 from オーストラリア
- ・作品 2:Aquaura Music with Friends 笑音劇場 「イタズラ猫のお手伝い」
- ■Co.山田うん「In C」
- ■舞台芸術プロデュース講座~演劇・ダンス編~
- ■インキュベーション キョウト シアター?ライブラリー?
- ■ロームシアター京都フィルムプログラム
- ■『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう 3』参加事業 「老いと演劇 | OiBokkeShi「レクリエーション葬 |
- ■オル太『ニッポン・イデオロギー』
- ■『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3』参加事業 akakilike 「家族写真|

「本リリースに関するお問合せ先〕

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形、加藤 電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3』参加事業 ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業 「シアターデビュー! | 促進プログラム

ロームシアター京都と京都市内の文化会館 5 館が協働し、未就学児向けの作品上演を行います。地域の子どもたちが初めて劇場に足を運ぶ"シアターデビュー!"の機会と、おとなと子どもが一緒に楽しめる場をつくることで、地域コミュニティと劇場の結びつきを深めます。 2023 年度は、オーストラリアを拠点に活動するアーティスト集団「The Last Great Hunt」によるパペットとアニメーションが融合した作品の上演と、クラシック音楽とパントマイムのコラボレーションによる演奏会を開催します。

主催:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館)、京都市、公益社団法人全国公立文化施設協会助成:文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン 2))|独立行政法人日本芸術文化振興会

後援(申請中):京都市教育委員会、公益社団法人京都市保育園連盟、公益社団法人京都市私立幼稚園協会

作品1

The Last Great Hunt「子犬のバーニー — 幸せを探して — 」 from オーストラリア



パペットとアニメーションが融合した臨場感た っぷりの作品

出会いと別れ、そして愛!

かわいいパペットとアニメーションによる子犬の冒険物語。元気な子犬のバーニーは保護施設で新しい家族を待っています。そこに現れたのは寂しい目をしたおばあさん。おばあさんはバーニーをおうちに連れて帰ることに。

始めは戸惑っていた一人と一匹での生活にも慣れてきたころ…事件は起こります。バーニーは幸せ

を見つけることができるのでしょうか…?

演出・出演:Arielle Gray and Tim Watts

美術: Anthony Watts 音楽: Rachael Dease 人形デザイン: Chloe Flockar

製作: The Last Great Hunt

[日時・会場] 2023年

8月18日(金) 11:00 開演/14:00 開演 会場:京都市呉竹文化センターホール

8月20日(日) 11:00 開演/14:00 開演 会場:京都市東部文化会館 ホール

8月26日(土) 11:00 開演/14:00 開演 会場:京都市西文化会館ウエスティ ホール

PRESS RELEASE

ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 TEL 075-771-6051 (代表) FAX 075-746-3366 rohmtheatrekyoto.jp

[料金] 全席自由/こども 500 円 おとな 1,500 円 ペア (こども&おとな) 1,800 円

おすすめ年齢: 5~10歳程度

※0歳から入場できますが、暗くなったり大きな音が鳴るシーンがあります。

【一般発売: 7月15日(土)劇場会員先行発売: 7月8日(土)】

The Last Great Hunt (ザ・ラスト・グレート・ハント)

1994年創立。オーストラリア西部パースに本拠を置き、映像や体験型、身体パフォーマンスなどを取り入れた新しい演劇の形に挑戦しているアーティスト集団。その独特な世界観は国際舞台で大きな評価を得ている。『アルヴィンスプートニクの深海探検』、『It's Dark Outside』など、人形劇とアニメーションを融合させた独特の演出が魅力。2017年のオーストラリアの優れたパフォーマンスに贈られる Helpmann Awards の子供に向けたベスト・プレゼンテーション賞(Best Presentation for Children)を受賞。

京都市内の児童館2館でアーティストによるワークショップも開催します。

制作協力:愛知県芸術劇場 協力:オーストラリア大使館

作品 2

Aquaura Music with Friends 笑音劇場「イタズラ猫のお手伝い」



クラシック音楽とパントマイムのゆかいなコラボレー ション!

ひとりのまじめな青年とイタズラ好きな 2 匹の黒猫の物語。仕事のじゃまをする猫たちに最初はウンザリしていた青年も音楽の魔法で次第に心を開いていって…。こどもからおとなまでクラシック音楽の魅力を味わえる演奏会。

構成:Aquaura Music 演出:宮川安利 編曲:宮川知子

出演:宮川安利、宮川大典、吉岡朋子

ピアノ:宮川知子 フルート:内山貴博 ヴァイオリン:吉村美智子 チェロ:内山剛博

[日時・会場] 2023 年

9月9日(土) 11:00 開演/14:00 開演 会場:京都市北文化会館 創造活動室 9月10日(日) 11:00 開演/14:00 開演 会場:右京ふれあい文化会館 創造活動室

[料金] 全席自由/こども 300円 おとな 1,000円

おすすめ年齢:3~6歳 ※0歳から入場可能。

【一般発売:7月15日(土)劇場会員先行発売:7月8日(土)】



Aquaura Music アクオーラ ミュージック

ピアニストの長女知子(ちこ)、舞台役者の次女安利(あり)、 そして音響エンジニアの長男大典(だいすけ)が中心となっ て活動する音楽ユニット «Aquaura Music(アクオーラ ミュ ージック)» とその仲間たち。クラシック音楽に聴き馴染み のない人でも楽しめるようなコンサート企画を中心に、小中 学校への訪問公演等も意欲的に行う。

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう 3』参加事業 Co.山田 うん 「In C |



ミニマル・ミュージックの創始者、テリー・ライリーの代表作 『In C.』 世界中のダンスカンパニーで上演されているこの名曲に Co.山田うんが挑む! 1964 年テリー・ライリーが発表した、" 世界中のダンスカンパニーが挑み続けて C." 世界中のダンスカンパニーが挑み続けて は零中のダンスカンパニーが挑み続けて 無尽に旅しているようなヲノサトルの音楽と、シームレスに変化する在り様を煮

込み料理に見立てた飯嶋久美子の衣装。崩壊し、再生し、変形しつづける地上の風景を、12人の新進気鋭ダンサーが知的な躍動感で描く。不協和音が響きわたるこの時代に、鮮やかな C コード(ハ長調)が響く!令和 4 年度(第 77 回)文化庁芸術祭 舞踊部門 関東参加の部 優秀賞授賞作品。

振付・演出・美術:山田うん 作曲:テリー・ライリー

作曲・音楽: ヲノサトル 衣装: 飯嶋久美子

出演:飯森沙百合、河内優太郎、木原浩太、黒田勇、須崎汐理、田中朝子、角田莉沙、西山友貴、長谷川暢、望月寛斗、山口将太朗、山根海音

[日時] 2023年

9月1日(金)19:00 開演、2日(土)13:00 開演/18:00 開演

3日(日)13:00 開演★託児あり

[会場]ロームシアター京都 ノースホール

[料金] 全席自由/一般 3,500 円、ユース (25 歳以下) 2,000 円、18 歳以下 1,000 円 ※未就学児入場不可。9 月 3 日託児サービスあり

【一般発売:7月15日(土)劇場会員先行発売:7月8日(土)】

PRESS RELEASE

ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 TEL 075-771-6051 (代表) FAX 075-746-3366 rohmtheatrekyoto.jp



山田うん Un Yamada

器械体操、バレエ、舞踏を学び、1996 年からアーティスト活動を行う。振付家・演出家・ダンサーとしてダンス、オペラ、演劇、MV、近年では東京2020 オリンピック閉会式 Director of Choreographer として活躍。平成26 年度第65 回芸術選奨文部科学大臣新人賞、令和元年第37 回江口隆哉賞などを受賞。平成28 年度文化庁文化交流使として11 カ国23 都市を訪問。

Co.山田うん

山田うん率いるダンスカンパニー。ダンサー、俳優、モデル、振付家、演出家、指導者、教員として活躍するメンバー18名が在籍。国内外でのダンスパフォーマンスのほか、福祉施設や学校でのワークショップ、レストランとのコラボレーションなど、革新的な活動を行っている。今年で旗揚げ20周年を迎える。ロームシアター京都では2018年の「モナカ」以来2度目の公演となる。

<関連ワークショップ>

山田うんとダンサーによるダンスワークショップを開催します。

日時:9月3日(日)18:30~20:30 場所:京都市北文化会館 創造活動室

料金:1,000円 ※「In C」公演チケットをお持ちの方は無料です。

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人全国公立文化施設協会助成:文化庁文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン 2) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

舞台芸術プロデュース講座~演劇・ダンス編~



企画制作のプロフェッショナルへ 最初の一歩。

地域の舞台芸術のプロデュース/企画制作領域の専門人材の育成プログラム。強力な講師陣を迎え、舞台芸術プロデュース、舞台制作、マネジメントに関するレクチャーとゼミ形式のワークショップを開催します。おもにユース層に向けて、地域で活動する演劇サークルや若手劇団を中心としたネットワーク構築、コロナ禍からの活動再開を促し、パワーを喚起することで、舞台芸術シーンの活性化及び地域の文化芸術振興を目

指します。「演劇やダンスをプロデュースする仕事とは」「企画はどのようにつくられていくのか」社会と舞台芸術をむすぶ制作者たちのシゴトのイロハから、舞台芸術における「プロデュース」のいろんなカタチを学ぶ講座です。

ロームシアター京都 ROHM Theatre Kyoto

PRESS RELEASE

ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 TEL 075-771-6051 (代表) FAX 075-746-3366 rohmtheatrekyoto.jp

[日時] 2023年10月~2024年1月 全9回(予定)

[会場]ロームシアター京都 ほか

[対象] 舞台プロデュース、マネジメントに興味を持っている人。舞台制作業務に携わっている人。自身の団体等で運営・企画に携わっている人。18歳以上、経験不問。

※「通し受講」については、講座日に概ね参加できる人

※オンライン受講は予定しておりません。

[受講料]通し受講 6,000円(初回納入) 単発受講 1,000円

[定員] 通し受講 20 名(申込多数の場合は抽選) 単発 10 名程度(先着順)

[申込期間]8月15日(火)~9月18日(月)

[講師] 最前線で活躍する舞台芸術プロデューサーや制作者等

渡邉裕史、川崎陽子 (KYOTO EXPERIMENT)、和田ながら (京都舞台芸術協会)、

小倉由佳子(ロームシアター京都)など

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、KYOTO EXPERIMENT、NPO 法人京都舞台芸術協会、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市

助成:文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

独立行政法人日本芸術文化振興会

インキュベーション キョウト シアター?ライブラリー?

ノースホールに期間限定の"ライブラリー"が出現

ノースホールに劇場のようであり図書館のようでもある空間が誕生します。

一度入室すれば、1日中出入り自由。アーティストが選書した書籍から気になる本を手に取ってみたり、期間中に開催されるパフォーマンスを見たり、トークに参加したり…秋の一日を過ごしてみてください。

構成・演出:福井裕孝

空間設計: REUNION STUDIO (木村慎弥、安川雄基、石田知弘)

[日程] 2023年10月12日(木)~16日(月)(予定)

[会場] ロームシアター京都 ノースホール



福井裕孝 Hirotaka Fukui

1996年京都生まれ。演出家。2018年より個人名義で作品制作を始める。人・もの・空間の関係を演劇的な技法を用いて再編し、その場に生まれる状況を作品化する。近作に、テーブルの上を舞台に上演する『デスクトップ・シアター』(2021)、劇場の不可視

PRESS RELEASE

ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 TEL 075-771-6051 (代表) FAX 075-746-3366 rohmtheatrekyoto.jp

化された「もの」を観察し記録する『シアターマテリアル』(2020,2022) など。ロームシアター京都×京都芸術センターU35 創造支援プログラム"KIPPU"選出。2022 年度より THEATRE E9 KYOTO アソシエイトアーティスト。

REUNION STUDIO (リユニオン スタジオ)

木村慎弥と安川雄基の共同主宰によって 2022 年に設立。建築やインテリアデザイン、展覧会・イベント会場の設計施工から、社会実験やまちづくりなどのアーバンデザイン、ワークショップの企画運営やリサーチなど、ハード/ソフトを問わず、都市と建築に関するさまざまなプロジェクトに取り組んでいる。

インキュベーション キョウトについて

KYOTO EXPERIMENT、京都市東山青少年活動センター、THEATRE E9 KYOTO、ロームシアター京都の複数団体が協働し、地域の若年層が広い視点でこれからの舞台芸術を考え、志すきっかけとなるための、人材育成プログラムを実施します。ロームシアター京都では、「シアター?ライブラリー?」のほかに、若手プロデューサーによるディレクションショウケースを開催します。また、国内フェスティバルへの若手派遣や、インターン合同説明会、ネットワーク構築のための企画などを共同で実施します。

主催: ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、KYOTO EXPERIMENT、京都市東山青少年活動センター、THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

助成:文化庁文化芸術振興費補助金 (統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン2)) |独立行政法人日本芸術文化振興会

事業名: JAPAN LIVE YELL project

ロームシアター京都フィルムプログラム

太陽劇団(フランス)や高谷史郎など、世界的アーティストの映像を一挙上映

世界の先鋭的アーティストの作品世界を映像で体感できるプログラム。創設 57 年目を迎え、歴史と政治を主題とした数々の傑作を生み出し、国際的に高い評価を得るフランスを代表する太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)と、京都在住/マルチメディアパフォーマンス集団「ダムタイプ」の創設メンバーでありソロ・アーティストとしても独自の表現スタイルを追求し活躍する高谷史郎などの映像を上映します。

[日時] 2023年10月13日(金)、14日(土)、15日(日)

[会場]ロームシアター京都 サウスホール

[料金] 全席自由/一般 1,000 円、ユース(25 歳以下)500 円/1 プログラムあたり ※11 月 4、5 日太陽劇団(テアトル・デュ・ソレイユ)「金夢島 L'ÎLE D'OR Kanemu-Jima」の公演チケット提示の方は無料でご入場いただけます。

【一般発売:8月26日(土)劇場会員先行発売:8月19日(土)】

上映作品や開始時間については、決定次第劇場WEBサイトにて詳細を発表します。



太陽劇団 Théâtre du Soleil

太陽劇団は 1964 年にフランスで設立。"集団創作"という独自スタイルで知られ、パリ郊外のカルトゥーシュリ(弾薬庫跡)を拠点に活動している。70 年に上演されたフランス革命を題材とした『1789』は斬新な演劇手法で、世界的注目を集めた。古典から仮面劇、現代の難民問題を扱った作品まで幅広いレパートリーを持つ。2001 年に『堤防の上の鼓手』(新国立劇場)で待望の

初来日を果たし、アジアの人形劇、特に日本の文楽のエッセンスを大胆に取り入れた表現が話題となった。



高谷史郎 Shiro Takatani

1963 年生まれ。1984 年からアーティスト・グループ「ダムタイプ」の活動に参加。様々なメディアを用いたパフォーマンスやインスタレーション作品の制作に携わり、世界各地の劇場や美術館、アートセンター等で公演/展示を行う。また、中谷芙二子、坂本龍一、野村萬斎、十五代樂吉左衞門・樂直入らとのコラボレーション作品も多数。

主催:京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

助成:令和5年度 文化庁 文化資源活用推進事業

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう 3』参加事業 「老いと演劇 | OiBokkeShi 「レクリエーション葬 |



「死」と向き合う、活動 10 周年の節目の作品。

俳優で介護福祉士の菅原直樹と、看板俳優の岡田 忠雄(97歳)を中心に、演劇公演やワークショップ を行う OiBokkeShi(おいぼっけし)が、ローム シアター京都に初登場します。

「老い」「ぼけ」「死」を題材に、高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチする活動で、演劇、介護のジャンルを越え、近年多方面から注目を集めています。

これまで「老い」「ぼけ」の只中で光り輝くユーモアや生命力を描いてきましたが、活動 10 年目の節目で、「死」に向き合う作品を発表します。

作・演出: 菅原直樹 出演: 岡田忠雄 他

[日時] 2023年10月22日(日) 13:00 開演

[会場]ロームシアター京都 ノースホール

[料金] 全席自由/一般 3,500 円、ユース(25 歳以下) 2,000 円、18 歳以下 1,000 円

【一般発売:8月12日(土)劇場会員先行発売:8月5日(土)】

<関連ワークショップ>

日程:11月6日(月)、7日(火) 会場:ノースホール

講師:菅原直樹

OiBokkeShi (おい・ぼっけ・し)

俳優で介護福祉士の菅原直樹を中心に、2014年に岡山県和気町にて設立。看板俳優は、認知症の妻を在宅で介護する岡田忠雄(97歳)。「老人介護の現場に演劇の知恵を、演劇の現場に老人介護の深みを」という理念のもと、高齢者や介護者と共に作る演劇公演や、認知症ケアに演劇的手法を取り入れたワークショップを実施。超高齢社会の課題を「演劇」というユニークな切り口でアプローチするその活動は、演劇、介護のジャンルを越え、近年多方面から注目を集める。



菅原直樹 Naoki Sugawara

1983 年栃木県宇都宮生まれ。劇作家、演出家、 俳優、介護福祉士。四国学院大学非常勤講師、美 作大学短期大学部非常勤講師。平田オリザが主宰 する青年団に俳優として所属。

2010 年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。2012 年、東日本大震災を機に岡山県に移住。2014 年「老いと演劇」OiBokkeShi を岡山県和気町にて設立し、演劇活動を再開。並行し

て、認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。 2016 年より活動拠点を岡山県奈義町に移す。さいたまゴールド・シアターと共同し制作した『よみちにひはくれない 浦和バージョン』(2018 年/世界ゴールド祭)、OiBokkeShi × 三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト (2017 年~) など、劇団外でのプロジェクト、招聘公演も多数実施している。

平成 30 年度(第 69 回)度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞(芸術振興部門)を受賞。平成 30 年度(第 20 回)岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。奈義町文化功労賞受賞。2019 年度 (第 1 回)福武教育文化賞受賞。令和 4 年度(第 23 回)岡山芸術文化賞準グランプリ受賞。令和 4 年度(第 81 回)山陽新聞奨励賞(社会部門)受賞。

製作:公益財団法人岡山文化芸術創造、「老いと演劇」OiBokkeShi

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人全国公立文化施設協会助成:文化庁文化芸術振興費補助金統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン 2) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

オル太『ニッポン・イデオロギー』



ニッポンのイデオロギーは永久に不滅なのか?
2019 年度にロームシアター京都 × 京都芸術センター U35 創造支援プログラム "KIPPU"で『超衆芸術スタンドプレー』を発表し賛否両論を巻き起こしたアーティストコレクティブ「オル太」が、多彩なゲストパフォーマーと共に、「ニッポンのイデオロギー」がとる日常的形態のパフォーマティブな分析に取り組みます。横浜国際舞台芸術ミーティング(YPAM)とロームシアター京都の共同製作による新作です。

[日程] 2024年1月中旬

[会場]ロームシアター京都 ノースホール

[料金]券種・料金未定

【一般発売:10月14日(土)劇場会員先行発売:10月7日(土)】



オル太 OLTA

2009年に結成した6名のアーティスト集団。メンバーは、井上徹、川村和秀、斉藤隆文、長谷川義朗、メグ忍者、Jang-Chi。創造行為、ひいては人間の根源的な欲求や感覚について、自らの身体をパフォーマンスという形で投じ、問いかけている。 近年の主な展覧会や公演に『生者のくに』(KAAT 神奈川芸術劇場、BUoY、神戸アートビレッジセンター、2021年)、『超衆芸術 スタンド

プレー』(ロームシアター京都 × 京都芸術センター U35 創造支援プログラム "KIPPU"、2020年)、「青森 EARTH2019: いのち耕す場所 - 農業がひらくアートの未来」(青森県立美術館)、「釜山ビエンナーレ 2016 | (F1963) ほか。第 14 回岡本太郎賞受賞。

委嘱・製作:横浜国際舞台芸術ミーティング

共同製作:ロームシアター京都

主催: ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会助成:文化庁文化芸術振興費補助金 (統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業 (アートキャラバン 2)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

事業名: JAPAN LIVE YELL project

『公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう 3 』参加事業 akakilike 「家族写真 |





2023 年に二つの海外フェスティバル(クンステン・フェスティバル・デザール、フェスティバル・ドートンヌ)に招聘された注目のダンス作品、日本での凱旋公演が実現!

2018 年度にロームシアター京都 × 京都芸術センター U35 創造支援プログラム "KIPPU"に選出された倉田翠が主宰する akakilike の国内外で高い評価を得ている作品を上演します。

生命保険について語り続ける「父」と、そ

れを取り囲む「家族」のような者たち。「兄」のような写真家は黙々とセルフポートレートを取り続ける一。2016年の初演以降、再演され続けるの代表作のひとつです。

「家族」という構造から逃れることの難しさ、またはその構造の儚さを、演劇/写真/ダンスの境界線を行き来しながら浮かびあがらせます。

出演:今村達紀、倉田翠、迫沼莉子、佐藤健大郎、筒井潤、寺田みさこ、前谷開 <以下 akakilike メンバー>

演出・振付: 倉田翠 演出助手: 平澤直幸 音響: 甲田徹 照明: 魚森理恵

[日時] 2024年1月18日(木)~21日(日) 全4回

[会場]ロームシアター京都 ノースホール

[料金] 全席自由/一般 3,500 円、ユース (25 歳以下) 2,000 円、18 歳以下 1,000 円 【一般発売:10 月 21 日 (土) 劇場会員先行発売:10 月 14 日 (土)】



倉田翠 Midori Kurata

1987年三重県生まれ。京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)映像・舞台芸術学科卒業。 3歳よりクラシックバレエ、モダンバレエを始める。京都を中心に、演出家・振付家・ダンサーとして活動。作品ごとに自身や他者と向かい合い、そこに生じる事象を舞台構造を使ってフィクションとして立ち上がらせることで「ダンス」の可能性を探求している。2016年より、倉田翠とテクニカルスタッフのみの団体、akakilike

(アカキライク)の主宰を務め、アクターとスタッフが対等な立ち位置で作品に関わる事を 目指し活動している。セゾン文化財団セゾン・フェロー I。

関連ワークショップを開催します。詳細は決定次第、劇場 WEB サイトでお知らせします。

ROHM Theatre Kyoto

ロームシアター京都 PRESS RELEASE

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 TEL 075-771-6051(代表) FAX 075-746-3366 rohmtheatrekyoto.jp

製作: akakilike

主催: ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人全国公立文化施設協会 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)) | 独立行 政法人日本芸術文化振興会

各公演の詳細は決定次第随時劇場WEBサイトにてご案内いたします。 ロームシアター京都 2023 年度自主事業ラインアップ WEB ページはこちら

「本リリースに関するお問合せ先〕

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、山形、加藤

電話:075-771-6051(10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp